

## 愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ 研究に対するご協力のお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液・細胞・排泄物など）を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や保管されている試料（血液・細胞・排泄物など）を利用してほしくない方は、以下の問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	口腔がんにおけるがん関連 microRNA の発現解析
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) (職名) (氏名) 歯科口腔外科 院生医員 白井博之
研究期間	研究機関の長の許可日～2029年12月31日
対象となる方	2005年5月から2024年10月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち 口腔癌と診断された患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等 (利用する試料) 既に手術時に採取済の試料（腫瘍組織および正常組織）
研究の概要 (目的・方法)	口腔がんは頭頸部がんの中で最も多く、90%以上が扁平上皮癌です。日本では高齢化に伴い、口腔がんの患者数が増加しており、2020年には約8,000人が新たに発症しました。治療法は進歩していますが、生存率は改善していないため、早期発見や新しい治療法の開発が重要です。最近の研究で、がんに関連するmicroRNAが注目されており、これらの発現を調べることで新たな治療法や予後の予測が可能になると考えられています。本研究の目的は、口腔がんに関連するmicroRNAの発現変化を明らかにし、それらがどのように口腔がんの進行や予後に関与しているかを特定することです。特に、頸部リンパ節転移などの予後に影響を与えるmicroRNAを探し、将来的に有用な治療標的を見つけることを目指します。

愛媛大学医学部附属病院単施設用

情報公開文書 作成日： 2024/11/1 第1版

	既に採取済の試料から RNA を抽出し、microRNA の発現を確認および解析します。
個人情報の保護について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院歯科口腔外科 白井 博之 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5393